

# 高校再編に関する県民意見の募集 実施結果（意見要旨）

総務課高校再編推進担当

## 1 意見提出の状況

### （1）募集期間

平成28年7月16日から平成28年9月30日まで

### （2）意見提出の状況 ※県民フォーラム会場での提出を除く

総提出者数：41人（保護者11、大学生2、教育関係者7、同窓生15、地域住民ほか6）  
（団体を含む）

## 2 意見提出者の主な意見の要旨

※41人・団体からのご意見を97件の意見要旨に整理しました。

（ ）内の数字は類似意見要旨の提出者の数を表します。

### （1）全日制高校の規模と配置の適正化について

#### 【高校再編を推進すべき】（5人5件）

- 教育の質の充実や部活動の活性化のためにも、高校再編を今後も推進すべきである。
- 今後は、生徒数が大幅に減少することが必至であり、近隣同士の統廃合を推進すべき。
- 統合相手校は近隣にこだわる必要はない。また、特色ある学科や部活は引き継いで欲しい。
- 遠距離通学にもメリットはある。地域ごとに均等に学校がなくともあまり問題はない。
- 高校の統合により、スポーツ科を有する大規模な魅力ある学校づくりを目指して欲しい。

#### 【地域振興の観点から高校の存続を望む】（1人1件）

- 地域振興の観点からも、町に設置された高校を小規模ながらも存続して欲しい。

#### 【多様な高校教育の機会の確保を望む】（5人5件）

- 高校配置は、単純な人口割りではなく、都市部を核に周辺地域への配置も十分考慮願いたい。
- 日光市内に高校は最低2校は必要である。就職率のよい工業高校は残して欲しい。
- 日光地区では1校に複数学科を設置し、伝統工芸など様々な学びの可能な高校が望ましい。
- 日光は広域で通学不便な地区もある。普通科や専門学科など1校でも多くある事がよい。
- 交通不便な地域から高校生が通学可能な距離や交通事情等も考慮し再編する必要がある。

#### 【募集定員等に関する意見】（6人6件）

- 宇都宮市内の高校の定員を増やし受検倍率を下げたい。学区制の復活も必要ではないか。
- 特例校の下限は必要だが、特色化や将来的なことも考え総合的に判断するのが望ましい。
- 統合になるまでは、それぞれの定員数を規定のぎりぎりまで削減すべきである。
- 学級定員を30人以下とすることで、学級数や高校数を現状のまま維持すべきである。（3）

### （2）学科の構成と配置の適正化について

#### 【普通系学科・職業系学科の比率の検討をすべき】（2人2件）

- 職業系高校の配置数は、高校教育での必要性や中学生の志望実態から十分な検討が必要。
- 普通系と職業系の比率や職業系学科の構成を、本県の特性に合わせて検討すべきである。

#### 【地域の発展のため職業系学科の充実を望む】（4人7件）

- 本県産業のバランス良い発展のためにも、職業系学科の充実及び適正な配置を望む。
- 学科再編については、将来の地域の活性化を考慮して検討して欲しい。
- 拠点となる地域に職業系学科を必ず配置し、地域に貢献する産業人を育成する事が重要。
- 地域産業の担い手育成の観点からも、求人の多い地域の専門高校は減らして欲しくない。
- 地域のものづくりを支える技術者育成のため、工業科は単独高校としてその特徴を出す。
- 地場産業を守るためにも、もっと県内の高校に林業を学べる環境を充実させて欲しい。（2）

#### 【職業系専門教育・学科の維持、充実を望む】（6人6件）

- 母校は家庭科教育の先進校であり、現代においてその果たす役割は大きく、維持を望む。（5）
- 介護・看護・情報分野については、専門を深めながら上級学校に繋げていく仕組みが必要。

### (3) 学校の特色化・新しいタイプの学校について

#### 【地域を担う人材育成のための教育の充実を望む】(5人5件)

- 地域を担う人材育成のため、町の振興施策と連動する形で高校教育の特色化を望む。
- 今後の地域を担う高校生に対し、普通科でも地域を学ぶ機会を設けることは意義がある。
- 普通系高校でも地域の特色を生かした学びの機会の充実はとても重要である。
- 伝統ある学校は、均一化せず、地域毎にその特色を残し、魅力ある選択肢となるよう切望。
- 地域による学力格差を感じる。高校の学力が偏らないような取り組みも必要である。

#### 【中高一貫教育についての意見】(2人2件)

- 中高一貫教育は県立高校には導入すべきではなく、私立高校だけでよい。
- 中高一貫教育を実施するなら全ての子供に保証すべきである。出来ないなら廃止すべき。

### (4) 男女共学化について

#### 【男女別学校(特に女子校)の存続を要望する】(11人16件)

- 母校の女子校がこれ以上校名変更することなく、女子校として存続することを切望する(6)
- 女子校の運動場は狭く、共学になると体育の授業や部活動に支障が出る。(3)
- 宇都宮の女子校は市外の入学者も多い。地区ではなく県全体の女子校として存続を切望(2)
- 同性の中で落ち着いて勉強させたいという家庭も多い。母校の女子校の共学化に反対する。
- 自主性の育成など、別学校には別学校の良さがある。無理に共学する必要はない。
- 伝統や由緒の点から、日本最古の女子校など、地域の伝統ある別学校は残すべき。
- 男女別学は時代遅れという感もあるが、地域の実情と教育内容で判断すべきである。
- 男女別学は他県の公立高校では少ない。本県の一つの特徴として永く残して欲しい。

#### 【男女共学化を推進すべき】(5人6件)

- 男女共学が本来のあるべき姿である。本県も福島県や宮城県を見習い推進すべきである。
- 県が女性活躍や男女共同参画社会の推進を本気で考えるなら、高校の共学化を図るべき。
- 女性活躍推進が国をあげて掲げられている現在、別学を継続させる積極的な理由はない。
- 健全なコミュニケーション能力を培うためにも、共学という環境は必要である。
- 別学校は共学化を進め、県央・県南・県北に1組ずつ残すとバランスがよい。
- 生徒減少の顕著な地域では、統合し、共学化すべき。全国的にも男女別学は極めて少ない。

#### 【男女別学校の活力が低下する場合には共学化すべき】(2人2件)

- 別学校も小規模になり学校の活力が低下するような場合は共学になってよい。
- 寂しいが、別学校が小規模化するよりは、学校規模を維持できる共学化の魅力は大きい。

#### 【宇都宮地区の男女募集定員の片寄りを是正すべき】(10人10件)

- 宇都宮の男女の定員バランスが悪く、男子は高校選択の幅が狭く苦勞した。
- 宇都宮地区の別学校3校の共学化を進めることを希望する。
- 宇都宮市内の女子校を維持して欲しいが、共学にするなら別学3校とも共学化すべきである。
- 宇都宮市内の男子の進学先を広げるため市内全校共学化か、女子校1校の共学化を望む。
- 宇都宮では男女募集定員が片寄っている。女子校を共学化し男女の機会均等を図るべき(2)
- 宇都宮市内の女子校を減らすか、別学校の定員数を増減させ、バランスを取って欲しい。
- 宇都宮市内での高校選択時の男女間の不平等感是正のため、女子校2校を統合してはどうか。
- 宇都宮の男子校と女子校を統合し、募集定員を調整するのがよい。
- 宇都宮の男女募集定員の片寄り、共学校で男子の入学卒を多くすることで解消できる。

#### 【男女共学の進学校を充実させる必要がある】(2人2件)

- 男女共学の進学校が少ないように感じる。
- 人口流入を考えた時、共学の進学校がメイン地区にないのは、大きなマイナス要因になる。

(5) 定時制・通信制の在り方について

【定時制の必要性と理解の促進】(3人3件)

- 定時制・通信制は自分のペースで学べるなど、不登校生徒の進学先として存在は大きい。
- 定時制は定員割れをしていても無くさないで欲しい。
- 全日制と定時制の併置校において、お互いの理解のために交流の機会を増やして欲しい。

(6) 高校再編の進め方について

【提言内容の実現を願う】(1人1件)

- 提言内容は委員の高い見識と英断を感じさせる。ぜひ施策として実現させて欲しい。

【高校再編には、同窓会や地域社会の理解が不可欠】(3人3件)

- 再編計画を策定する際には、透明性を持って進めていただきたい。
- 統合は同窓生にも大きな影響を与える。同窓会との調整も十分をお願いしたい。
- 伝統と地域社会の意識などの観念的なものを無視して再編を進めることはできない。

【ノスタルジーではなく、未来を担う子供たちのために再編を】(2人3件)

- 再編の議論では、主役は「未来を担う子どもたち」であることを常に考える必要がある。
- 再編に際しては、是非とも子どもたちの実態とニーズに即したプランを作成して欲しい。
- 過去のノスタルジーにひたる議論に終始することなく、建設的な議論を切望する。

【統合校の組み合わせや選定の仕方について】(4人4件)

- 統合は普通科同士や普通科と専門学科など、溶け込みやすい組み合わせとすべきである。
- 統合新校が再び統合となることがないように計画の策定を強く希望する。
- 適正に分割した地区ごとに、様々な役割の学校がバランスよく配置されることが望ましい。
- 継続高校選定の際の視点は、伝統校やしっかりした教育がなされているかなどであろう。

(7) 高校再編に関するその他の意見

【通学面での支援の必要性】(1人1件)

- 教育の機会均等のためにも、高校再編に伴う通学面での支援の充実は必要不可欠である。

【閉校した学校への配慮】(1人1件)

- 統合により閉校した学校も、学校があったことを何らかの形で伝えて欲しい。

(8) 教育全般について

【入試制度の見直し】(2人2件)

- 「地元の高校に行きたい子どもが行けるよう保障すること」を考慮した柔軟な改革を望む。
- 他県と同様に、定員割れした高校の再募集を行って欲しい。

【高校における特別支援教育の充実】(3人3件)

- インクルーシブ教育の趣旨からも、高校にも特別支援学級を設置して欲しい。
- 通常の高校における特別支援教育の展開を視野に再編を検討していただきたい。
- 学校施設のバリアフリー化を進めて欲しい。

(9) その他

【私立高校の誘致】(1人1件)

- 少子化は進むが、私立高校の誘致も考えて欲しい。